

《債務名義が分割払の和解調書等の場合<sup>1</sup>》

請 求 債 権 目 録

東京地方裁判所令和〇〇年(ワ)第〇〇〇〇〇号事件の執行力のある和解調書正本<sup>2</sup>に表示された下記債権

記

- 1 元 金 金1,000,000円  
ただし、和解条項第1項記載の金員
- 2 損害金  
ただし、上記1に対する令和2年7月2日から支払済みまで年3%の割合による損害金

なお、債務者は令和2年5月31日及び同年7月1日に支払うべき分割金の支払を怠り、かつ、その額が金70,000円に達したので、同日の経過により期限の利益を喪失した。

<sup>1</sup> この書式は、分割払で期限の利益を喪失した場合に使用します。

<sup>2</sup> 債務名義が調停調書等の場合には、「第〇回口頭弁論調書（和解）正本」「調停調書正本」「調停に代わる決定正本」「和解に代わる決定正本」とするなど、債務名義に合わせます。

《取立等がある場合<sup>1)</sup>》

## 請 求 債 権 目 録

東京地方裁判所令和〇〇年(ワ)第〇〇〇〇〇号事件の執行力のある和解調書正本<sup>2)</sup>に表示された下記債権

## 記

下記1及び2の合計から、下記取立金等(ただし、下記各事件の執行費用分を除く。)を控除した残金

1 元 金 金 1,000,000円<sup>3)</sup>

ただし、和解条項第1項記載の金員

2 損害金

ただし、上記1に対する令和2年7月2日から支払済みまで年3%の割合による損害金<sup>4)</sup>

なお、債務者は令和2年5月31日及び同年7月1日に支払うべき分割金の支払を怠り、かつ、その額が金70,000円に達したので、同日の経過により期限の利益を喪失した。

## [以下、該当するものを記載する。]

## 《取立てがあった場合》

申立人は、東京地方裁判所令和〇年(ル)第〇〇号事件、同庁令和●年(ル)第●●号事件にて、債務者につき合計〇〇円<sup>5)</sup>を取り立てた。

## 《配当等があった場合》

申立人は、東京地方裁判所令和□年(ル)第□□号事件、同庁令和■年(ル)第■■号事件にて、債務者につき合計□□円<sup>6)</sup>の配当等を受けた。

## 《債務者から任意弁済があった場合》

申立人は、債務者から合計△△円の弁済を受けた。

1 この書式は、債務名義上の債権額が、調査した債務者の財産(資産額)よりも多額であることが明らかな場合を想定したものです。事案によっては、詳細な残額計算表が必要になります。

2 債務名義が調停調書等の場合には、「第〇回口頭弁論調書(和解)正本」「調停調書正本」「調停に代わる決定正本」「和解に代わる決定正本」とするなど、債務名義に合わせます。

3 和解調書等債務名義の記載をそのまま転記します。

4 和解調書に記載された損害金の利率をそのまま記載します。

5 奥書に記載された金額を記載します。

6 同上